

議会の



3月定例会

主 な 議 案

- 議案第1号 平成25年度鶴田町一般会計予算案
 議案第2号 平成25年度鶴田町国民健康保険特別会計予算案
 議案第3号 平成25年度鶴田町水道事業会計予算案
 議案第4号 平成25年度鶴田町下水道事業会計予算案
 議案第5号 平成25年度鶴田町学校給食特別会計予算案
 議案第6号 平成25年度鶴田町第1財産区特別会計予算案
 議案第7号 平成25年度鶴田町第2財産区特別会計予算案
 議案第8号 平成25年度鶴田町介護保険特別会計予算案
 議案第9号 平成25年度鶴田町後期高齢者医療特別会計予算案
 議案第10号 平成24年度鶴田町一般会計補正予算（第7号）案
 議案第11号 平成24年度鶴田町一般会計補正予算（第8号）案
 議案第12号 平成24年度鶴田町水道事業会計補正予算（第1号）案
 議案第13号 平成24年度鶴田町下水道事業会計補正予算（第1号）案
 議案第14号 平成24年度鶴田町介護保険特別会計補正予算（第3号）案
 議案第15号 平成24年度鶴田町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）案
 議案第16号 専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて 専決第2号 平成24年度鶴田町一般会計補正予算（第6号）案
 議案第17号 鶴田町再生可能エネルギー発電設備等維持管理基金条例案
 議案第18号 鶴田町新型インフルエンザ等対策本部条例案
 議案第19号 鶴田町養育医療費用徴収条例案
 議案第20号 鶴田町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例案
 議案第21号 鶴田町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例案
 議案第22号 鶴田町指定地域密着型サービス事業者等の指定に関する基準を定める条例案
 議案第23号 鶴田町道路法施行条例案
 議案第24号 鶴田町公共下水道の構造の技術上の基準等に関する条例案
 議案第25号 鶴田町営住宅設置及び管理条例の一部を改正する条例案
 議案第26号 鶴田町都市公園条例の一部を改正する条例案
 議案第27号 鶴田町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例案
 議案第28号 鶴田町障害者自立支援条例の一部を改正する条例案
 議案第29号 鶴田町の公の施設の指定管理者の指定について 報告第1号 専決処分した事項の報告について 専決第1号 損害賠償の額の決定について
 請願第1号 TPPへの参加反対の意見書を求める請願
 議案第30号 鶴田町教育委員会委員の任命について（坂本豊氏）
 議案第31号 鶴田町固定資産評価審査委員会委員の選任について（安田久光氏）
 報告第2号 専決処分した事項の報告について 専決第3号 損害賠償の額の決定について
 意見書案第1号 TPPへの参加反対を求める意見書案

概要 第1回定例会

平成25年第1回鶴田町議定例会が、3月8日から14日までの会期7日間で開かれました。議案33件（うち請願1件、意見書案1件）について審議が行われ、原案どおり議決（可決29件、承認1件、採択1件、同意2件）されました。今定例会には、各会計の平成25年度当初予算が提出され、可決されています。一般会計の当初予算額や概要については4～5ページで紹介していますので、ここでは水道事業会計、下水道事業会計、そのほか6つの特別会計についての当初予算を紹介します。

各会計の平成25年度当初予算額【一般会計以外】

※カッコ内は対前年度の増減額です
 『↑』は増、『↓』は減を表わしています

●水道事業会計

○収益的収入	2億9,196万4千円（↓170万円）
○収益的支出	3億6,688万8千円（↑7,563万6千円）
○資本的収入	2億2,200万円（↑7,200万円）
○資本的支出	4億307万円（↑8,789万6千円）

●下水道事業会計

○収益的収入	3億9,863万7千円（↓2,111万9千円）
○収益的支出	4億3,788万6千円（↓4,209万9千円）
○資本的収入	2億665万7千円（↓7,349万5千円）
○資本的支出	4億1,350万3千円（↓1億831万2千円）

●国民健康保険特別会計

22億2247万9千円（↑1,403万5千円）

●学校給食特別会計

6,129万5千円（↓175万円8千円）

●第1財産区特別会計

411万5千円（↑109万9千円）

●第2財産区特別会計

464万9千円（↑50万2千円）

●介護保険特別会計

16億6,455万2千円（↑5,411万2千円）

●後期高齢者医療特別会計

1億1,911万2千円（↓63万8千円）

一般質問

編集 議会事務局

3月定例会一般質問の 要旨をお知らせします

北谷正則議員

所属会派 一心会

町（本町）活性化について

1、町（本町）活性化のため、鶴寿公園内に鶴の飼育場を設置してほしい

つるたまつりについて

1、まつり全体を鶴をテーマにしたまつりにしてはどうか

道の駅あるじやについて

1、道の駅あるじやの土産品、その他の商品を本町空き店舗又は、テント等を利用して月一回位出張販売をしたらどうか

答弁Ⅱ町長

まず、第1点目の本町の活性化そして、活性化のために鶴寿公園内に鶴の飼育場を設置してほしいということでございますが、丹頂につきましては、国の特別天然記念物に指定されており、国内での移動が厳しく制限されておりまして、当町では、1993年に中国黒竜江省よりつがい譲り受けました。その後、ロシアや、多摩動物公園からの借り受けとともに、当町の鶴の舞橋のたもとに整備した、丹頂鶴自然公園で生まれた雛を含め、現在ケージ6つで10羽を飼育しております。

鶴の飼育に当たりましては、丹頂の誘致当初から、釧路市丹頂鶴自然公園に職員を研修に出すとともに、丹頂飼育にかけては日本で最高の識者である、同園の名誉園長の高橋良治氏から、事あるごとに指導を得ながら飼育をしてきました。

ご質問の、鶴寿公園内への鶴の飼育場の設置による丹頂の飼育につきましては、調整しなければならぬことが幾つかあります。

たとえば、丹頂を飼育している地域内での、さらなる飼育場の設置についての許可についてです。

また、特別天然記念物の丹頂の飼育について、今回のことが文化財保護法との関係でクリアしなければならぬ課題があると思います。

そしてまた、飼育管理と飼育環境のことも大きな事柄として考えられます。

元来、丹頂は極めて縄張り意識が強い鳥であります。現在の丹頂鶴自然公園は市街地から離れており、人や車の往来も比較的限制されており、地域住民の散歩、休息、運動などの利用に供される鶴寿公園内での丹頂の飼育は、人車そしてペットの犬や猫などのことを考えますと、はたして丹頂の飼育環境としていかなるものかと思っております。そして、何よりも、この飼育環境が丹頂に与えるストレスが一番気になるところでありますので、釧路市の高橋先生のご意見、ご指導をお聞きするとともに文化財保護法なども含め、関係機関のご指導を得ながら、整理してまいりたいと思っております。

次に、つるたまつりについてのご質問でございますが、つるたまつりは例年、8月14日から16日までの日にちで実施してきたところであり、お盆のさなかであり、お盆の行事や来客対応にも支障を来す、との町民からの声があ

つたことから、昨年は、8月16日の花火大会と、その後の18日、19日と実施したところであります。併せて、昨年のつるたまつり運営委員会の反省会において、今年の実施日についても検討がなされ、昨年同様、8月16、18、19日と決定しているところであります。

ご質問の、つるたまつり全体を「鶴をテーマとしたまつり」としてはどうか、ということにつきましては、今までの催し物の中で、鶴を冠したもの、桜祭り開催時の「鶴の舞橋全国カラオケ大会」や、名称ではつるたまつりの「鶴寿公園まつり」と数的には限られておりますが、今年は新たに「丹頂鶴音頭」が披露できるのではと思っております。昨年、釧路市でおこなわれた「タンチョウ特別天然記念物指定60周年記念式典」に参加をした折りに私が拝見しました。

その「丹頂鶴音頭」について、釧路市の保存会から音頭使用についてのご了解をいただいたことから、先般、釧路市から保存会の代表者お二人をお招きし、町の舞踊愛好家の方々が教えを頂いたところであり、今年のもつり開催時に、ご披露出来るものと思っております。

議員からのご意見等につきましては、この後に開催されます、つるたまつり運営委員会等で検討されますように、お伝え申し上げます。

答弁Ⅱ副町長

北谷議員の、あるじやの土産品などを、本町の空き店舗または、テント等を利用しての出張販売についての質問にお答えします。

道の駅あるじやは、平成13年に営業を開始して、この6月で丸12年を迎えようとしております。地元農産物やお土産品などの販売などのほかは、平成18年には、大豆・コメ加工施設の整備により、地元農産物を使用した加工品の開発、販売などにより、年間の販売額も約4億円となっております。その中で、特に農家の女性の方々を中心に運営しております農産物直売コーナーは、年間販売額も1億2千万円となっておりますし、販売額が100万円以上の農家も20名を数えるほどに至っておりますので、金額的なことも含め、まさに農家所得の向上や地域の活性化のための一翼を担って来たものではないかと思っております。でもあります。

町内において、あるじやのお土産品やその他の商品の販売活動については、この4月から、富士見湖パークの売店に入居していた1店舗が撤退することとなったことから、現在、町商工会において、入居募がおこなわれておりますので、参加の意思表示をさせていただいているところでありますが、議員からのご提言でありました、本町内における、あるじやの出張販売、場所や日程、人員の配

備確保も含め、今後、公社において検討したいと思っております。

小関 優議員

所属会派 無所属

町の交際費について

1、交際費（町長・教育長・議長・農業委員会会長）について平成24年度予算額（補正後）は幾らか

交際費の公開について

1、交際費の公開について、平成24年第4回議会定例会の議案審議において、「町のホームページを活用し、積極的に公開してはどうか」と、提言させていただきましたが、「積極的に公開する予定はない」との回答でした。積極的に公開しない理由は何か

町単独事業の予算トップ10について

1、平成24年度、平成25年度の町単独事業の予算トップ10はどのような事業で予算額は幾らか

町民と共に歩むまちづくりについて

1、町予算のことを考えた町民の声の一例として、レディース・フォーラムにおいて、「米寿祝い時にプレゼントされる赤いちゃんちゃんこ」について疑問の声がありました。このような声を平成24年度予算にどのようにして反映させたのか

人事異動の発表時期について

1、小学生の生徒から、「人事異動の発表時期が春休み中のため、用務員さんとお別れの挨拶が出来ない」との声がありました。このことについて、どのように感じどのように対処するのか

答弁Ⅱ町長

ご質問の交際費であります。町長が250万円、教育長が4万円、議長が36万円、農業委員会会長が1万5千円となっております。

2点目の交際費の公開についてであります。交際費の公開については、平成24年第4回議会定例会の議案審議において、「町のホームページを活用し、積極的に公開してはどうか」と提言をさせていただきましたが、「積極的に公開する予定はない」との回答を

したわけでございますので、交際費は、各種団体総会時の祝儀をはじめ、慶弔見舞金などでありますが、個人情報等にかかわる観点からも、積極的に開示するには馴染まないものと認識しており、町情報公開条例に基づく申請により、開示することが望ましいものと考えております。

次に町単独事業の予算トップ10についてであります。町単独事業におけるトップ10であります。ハード、ソフト事業を合わせて順番に、平成24年度が1番には鶴田町公民館外部改修事業4319万3千円、2番目には鶴田小学校グラウンド整備事業3959万1千円、3番目には児童育成支援金事業1800万円、4番目には長寿祝金支給事業1315万2千円、5番目に県営かんがい放水水路地区排水事業負担金893万2千円、6番目には国際交流員招致事業832万8千円、7番目には鶴田小学校通路および駐車場舗装事業829万6千円、8番目には鶴田中学校陸上トラック改修事業609万円、9番目は野木ふれあいセンター駐車場舗装事業54万5千円、10番目は福祉バス運行委託料510万円、同様に平成25年度が1番目には鶴田町公民館内部改修事業373万9千円、2番目に児童育成支援金事業1950万円、3番目に一般町道改良事業1605万5千円、4番目は長寿祝金支給事業1435万2千円、5番目には一般廃棄物最終処分場

建設事業1229万円、6番目には公用車購入事業800万円、7番目にはコミュニティプラザ改修事業800万円、8番目は国際交流員招致事業772万8千円、9番目には町デジタル防災行政無線設置事業600万円、10番目には福祉バス運行委託料事業504万円となっております。

次の4番目のご質問にお答えしますが、ご質問の米寿祝賀会につきましては、数え年で88歳をお迎えした方々をお祝いする日本古来の行事であります。町民の幸せを願い、これからも長生きをして人生を楽しんでくださいという意味で幸せのまちづくりの一環として昭和49年9月から実施しており、出席者からも大変喜ばれております。レディース・フォーラムのご意見を含め、今後とも皆さんからより喜ばれるように努めてまいり所存であります。なお、新年度予算には、205万8千円の委託料を見込んでおります。

答弁Ⅱ教育長

人事異動の発表時期が春休み中のため、用務員さんとお別れの挨拶が出来ないという声につきまして、は、町職員の異動にあわせて発表している経緯がありますので、子ども達の春休み前に発表できないのは致し方がないと考えております。

なお、各小学校で毎年行われている離任式に間に合わない場合、

お別れの会等が出来るのかどうかについて学校と協議していききたいと思っております。

新谷賢剛議員

所属会派 日本共産党

TPP参加反対の取り組みについて

安倍首相は日米首脳会談を行い、「なるべく早い段階で決断したい」とTPP交渉参加に踏み出す考えを明言した。町を守るためのTPP反対行動を急ぎ、強化すべきである

1、「聖域なき関税撤廃」を前提にする限り交渉参加に反対する等の6項目の衆議院選挙公約を守るように安倍政権に自民党に物申すべきである

2、町中のTPP交渉参加反対の声を結集する組織や場所が必要ではないか

3、日米首脳会談では「日米同盟の強化」が強調された。このことはTPPの推進と一体であり、この町の今後のあり方とは切り離しては考えられない問題である。見解を問う

産業観光振興等について

1、町農業の6次産業推進の取り組みと、町特産スチューベンを活用した、新たな「ブドウ飲料」づくりの内容について問う

東日本大震災を経験したの町防災対策について

1、防災行政無線の設置計画について問う

答弁Ⅱ町長

新谷議員の「聖域なき関税撤廃」を前提にする限り交渉参加に反対する等の6項目の衆議院選挙公約を守るように働きかけることについてでございますが、先の安倍首相とオバマ大統領との首脳会談において、貿易自由化を目指す環太平洋連携協定、いわゆるTPP交渉において「一方的にすべての関税撤廃をあらかじめ約束すること」を求められるものではない」とのことを確認したとのことであり、その後、両政府は、そのことも含めた共同声明を発表したところであります。

その後の経過を見ますと、自民党は役員会において、党の総裁である安倍首相に「TPP交渉参加への判断を一任する」とのことで確認され、結果的には首相の施政

方針演説に見られるように「TPPの交渉参加は、政府の責任において判断する」と事実上の参加を表明したのではないかと理解せざるを得ないものと思っております。

仮にこの後、正式な交渉参加表明がなされた場合、わが国の農産物を含めた840品目にも及ぶ重要品目のうち、どれだけの品目を例外品目として守りきれぬのかについて、特に1次産業を主とする当町において影響のある重要品目が、例外として扱われなければ、当町の農業に影響を及ぼす額が、約12億6800万円の減収と試算されます。極めて憂慮すべきことであります。

そのようなことも踏まえ、このTPP参加交渉につきましては、今までも国民に対する明確な情報開示やしつかりとした説明もなく進められてきていることから、政府においての情報開示や説明責任をしつかり果たすよう強く希望するところであります。

そのようなことから、この問題につきましては、今までも、県町村会や全国町村会をはじめ、各種会議や要望活動等、事ある機会を捉えまして、働きかけをしてきたところでありますので、今回の議員のご発言につきましても、町を預かるものとして、町はもちろん、議員の皆さまや議会、そしてまた農業者の組織であります農協、関係する農業団体の皆さまと共同歩調をとるべく、意見調整を

してまいりたいと思っております。

次に、TPP交渉参加反対の声を結集する組織や場所が必要ではないかとのご質問でございますが、このTPP交渉参加問題につきましては、農家、非農家問わず、関わってくることでありますが、先程も申し述べましたように、国からの情報開示や説明がほとんどないままに事が進められております。

このことは一般国民はもとより、わが国の行く末を論ずる国会においてもそのようであると聞き及んでいるところであります。わが町においても交渉参加についての議論をするための情報の収集もまた、優先されることではないかと思っております。

いずれにいたしましても、TPP交渉参加問題について、感心のある方々が一同に介して勉強会を開催するなど、自主的な活動を期待するところであります。その勉強会などの開催時において、国や県などの動きについて、町への情報提供の要請があった場合には、意に沿うような方向で検討してまいりたいと思っております。

なお、このような勉強会、研究会など、町民の方々が使用できる施設として公民館や豊明館がございますのでご活用いただければと思います。

次に、日米首脳会談での日米同盟の強化とTPPの推進についてでございますが、日米同盟は、1960年の日本と米国との安全保

障条約の発効に始まりました。そのことにより、条約発効後53年にわたり、冷戦時を含め、少なからず世界の緊張緩和の一翼を担ってきたものと思っております。またわが国をはじめ、世界経済の飛躍的発展もまた、日米同盟によるところが大きかったのではないかと思います。

そしてまた、日米同盟の強化は、東アジアの均衡ある発展に少なからず影響を与えつつあることは、言うまでもないことであります。

併せて、北朝鮮のミサイル発射や核実験問題、尖閣諸島や南沙諸島の領海問題等を考えた時に日米同盟の強化は、当然考え方としてはあり得ることであると思っております。

しかしながら、太平洋地域の経済発展、とりわけ東アジア地域はこれからの世界経済の中では、消費も含め製造分野においても極めて大きな影響力のある地域であることは疑う余地のないことであります。そのようなことからしますと、今回のTPP交渉参加問題が日米同盟の強化によるものとは、直接的に判断は出来かねると思っております。

いずれにいたしましても、わが町に良い方向での道筋が見られることを期待するところであります。戦後70年を迎えようとしている今日、世界の平和や経済の先導的役割を果たしてきたわが国としては、世界を先導する国の一つとして、今一度、自立国家の意を再認識する時に来ているかも知れな

いと思っております。

次に、町農業の6次産業推進と町特産スチューベンを活用した、新たなブドウ飲料についてです。東京大学の今村名誉教授が提唱した6次産業ですが、第一次産業である農林水産業が、農林水産物の生産だけでなく、それを原材料とした加工食品の製造・販売や、観光農園など地域資源を活かしたサービスなど、第二次産業や第三次産業にまで取り組んでいくことであります。そのことに、農家自らが携わっていくことにより、農林水産物の付加価値を高め、所得向上や雇用の創出など、より元気の出る農林水産業の形成が期待されるものであると思っております。

当町の6次産業の推進につきましては、道の駅あるじやを中心に取り組まれておりますが、特にあるじや内の農産物直売コーナーにて加工品の販売を希望する農家の方々に対し、平成16年度から18年度までの3年間にわたり、町の単独事業で「町加工施設改修資金利子助成事業」を実施し、加工施設が保健所の許可を得られるように改修等をするための手助けをしたところであります。また、若手の農家女性を対象にした「農家女性いきいき講座」の開催により、県内の先進事例の視察研修も実施しながら、意識の醸成も図ってきているところであります。この14日には、特色ある農林水産業の推進や、住みよい地域づくりを進める女性リーダーとして、県から認

定を受けております、当町の「ビ
ック・ウーマン」の方々による視
察研修も予定されています。

このほか、6次産業の取り組み
につきましましては、当町の特産品で
あります、スチューベンブドウは、

生果販売のほか、ジュースやジャ
ム、そして、あるじやにおいては、
スチューベンのフルーツソースに
より、スチューベン大福や、レス
トラン「幡龍」のスチューベン餃
子などに使用されているところで
あります。新年度においては、町
特産のスチューベンブドウの新た
な飲料として、スチューベンブド
ウによる酢、いわゆる食酢であり
ますが、この酢の飲料の開発を計
画しているところであります。

昨今の、消費者の健康志向から
いたしますと、このスチューベン
ブドウの酢を用いた健康飲料の開
発試験は、取り組むべき価値があ
るのではと思っております。この酢
の製造につきましては、「ハチミ
ツ入りんご酢」など、「カネショ
ウのりんご酢」でおなじみの、創
業100年を迎えた企業である平
川市の「カネシヨウ株式会社」に
お願いをすることとしておりま
す。

スチューベンブドウの酢の飲料
にするための調合配分について
と、パッケージのラベルデザイン
等については、五所川原農林高等
学校の生徒さんのお力をいただく
ことで、お話を進めさせていただ
いているところであります。

なお、このスチューベンブドウ

の酢は、醸造に要する期間は、優
に2カ月以上を要しますし、調合
配分等を考えますと、試飲を含め、
お披露目できるまでには、相当程
度時間が必要だとそのように思っ
ています。

なお、この酢のことでございま
すけれども、私は広島県の世羅町
に視察に行ったことがあります。

ここではミカンを材料にしたド
リンク販売をしていました。その
事例を考えて、みどりの会の皆さ
んにも視察に行つてもらいまし
た。最初は、五所川原農林高校の
加工部に、スチューベンを使つた
スポーツドリンクを作れないかと
お願いをしました。それはとても
難しいということでしたので、
酢の方向に変わったということ
を付け加えて答えていただきました。

次は東日本大震災を経験しての
町防災対策についてでございます
が、あの未曾有の東日本大震災か
ら2年が経過し、私たちはあまり
にも大きすぎる犠牲から自然災害
に対する認識と日ごろからの備え
など、多くを学びました。加えて
近年の自然災害は、地球温暖化の
影響もあつてか、時として予想以
上に大規模化の傾向が見受けら
れ、日ごろから自然災害に対する
住民の認識と各種情報の提供が重
要性を増しております。

ご質問の町防災行政無線の設置
計画についてであります。東日
本大震災を踏まえ、これまで町内
各避難施設に計画的に発電機や投

光器、担架や寝袋など防災資機材
を配置し、自主防災組織も立ち上
げていただくなど行政と地域住民
の協働による防災対策に努めてま
いりました。また一人暮らしの老
人や高齢者世帯の除雪対策として
地域に貸与された除雪機も防災対
策の一助としていただくとのであ
ります。

さらには役場庁舎の太陽光発電
システムについても、鶴遊館をは
じめ、胡桃館小学校、水元中央小
学校に順次設置予定であり、学区
単位を念頭に広域避難所として利
活用できるよう整備を図るもので
あります。

これまで計画的に防災対策の整
備に努めてまいりましたが、この
たびの一般会計補正予算第7号案
に計上しました全国瞬時警報シス
テム、ジェイアラート自動起動装
置の導入により、国からの災害情
報等をリアルタイムで町内エリア
における携帯電話等へ自動配信で
きることとなります。これに加え
て災害情報伝達手段の要となる町
内全域をカバーする防災行政無線
設備の整備について、新年度から
着手するものであります。新年度
は当町における地形や地理の状況
を把握するため、無線電波や拡声
器などデジタル機器の指向性調査
を全町で行い、その調査結果を基
に着手することになりますので、
ある程度の時間も要することか
ら、実際の運用は早くとも平成26
年度になるものと思っております。

答弁II農業委員会会長

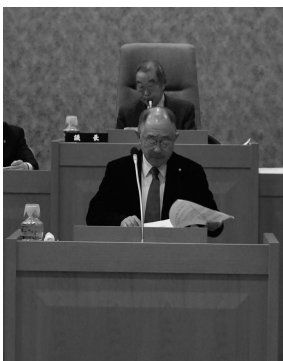
新谷議員のご質問にあります
「聖域なき関税撤廃」を前提にす
る限り交渉参加に反対する等の6
項目について、衆議院議員公約を
守ることについての働きかけや、
TPP交渉参加反対の声を結集す
る組織や場所の必要性についてで
ございますが、このTPP交渉参
加問題については、2011年11
月のアジア太平洋経済協力会議、
いわゆるAPEC(エーペック)の
首脳会議で、野田前首相がTPP
交渉参加に向けて関係各国と協議
に入ることを表明したことから、
大きく動き出したことでありま
す。

今回の、この問題は、例外品目
を基本的に認めない、関税撤廃を
目指す自由貿易協定であることを
考えますと、関税の重要品目とし
て守られてきた農産物の関税撤廃
にも及ぶことから、農業を主産業
とする当町はもちろん、本県にお
いても極めて憂慮すべきことか
ら、地域の農家の代表者の組織で
ある農業委員会としては、地域農
業の崩壊につながるものとして、
反対の意思表明をしてきました。
そのことは、昨年の5月31日の
全国農業委員会会長大会や、7月
24日の北五地区農業委員大会、11
月21日の第56回青森県農業委員会
大会においても交渉参加への反対
決議が行われ、県選出国會議員等
への要請行動もしてきていること
でございます。

今回の安倍首相の、日米首脳会
談において確認したといわれる
「全ての関税撤廃をあらかじめ約
束することを求められるものでは
ない」との確認や、その後の「TP
PPの交渉参加は、政府の責任に
おいて判断する」とのことでは、
事実上の参加表明をしたものでは
ないと思うところであります。が、
その内容についての詳細情報は、
無いに等しい状況であります。

当町の農業に大きく影響を与え
るこのことについては、当然守ら
れるべき関税の重要品目などの確
認も含め、TPP問題に結集する
方々が学習し、認識を高めるため
の機会には、それぞれの委員は、
当然参画しながら、活動してい
くことにはなるかと思ひます。

いずれにいたしましても、各方
面への働きかけなども含め、議員
ご提案の件につきましては、町の
農業委員もこの3月18日から、委
員も新たに、今後3年間の任期を
スタートいたしますので、新たな
農業委員会による農業委員会にお
いて、十分ご検討いただきますよう
申し伝えたいと思っております。



平成24、25年度町単独事業の予算トップ10【ハード、ソフト事業込み】

【24年度】

① 鶴田町公民館外部改修事業	4,319万3千円
② 鶴田小学校グラウンド整備事業	3,959万1千円
③ 児童育成支援金事業	1,800万円
④ 長寿祝金支給事業	1,315万2千円
⑤ 県営かんがい大放水路地区排水事業負担金	893万2千円
⑥ 国際交流員招致事業	832万8千円
⑦ 鶴田小学校通路及び駐車場舗装事業	829万6千円
⑧ 鶴田中学校陸上トラック改修事業	609万円
⑨ 野木ふれあいセンター駐車場舗装事業	545万9千円
⑩ 福祉バス運行委託料	510万円

【25年度】

① 鶴田町公民館内部改修事業	3,737万9千円
② 児童育成支援金事業	1,950万円
③ 一般町道改良事業	1,605万5千円
④ 長寿祝金支給事業	1,435万2千円
⑤ 一般廃棄物最終処分場建設事業	1,229万円
⑥ 公用車購入事業	800万円
⑦ コミュニティプラザ改修事業	800万円
⑧ 国際交流員招致事業	772万8千円
⑨ 町デジタル防災行政無線設置事業	600万円
⑩ 福祉バス運行委託料	504万円

